

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・3	地元からの食材の購入や運営推進会議・散歩時の挨拶など、日常的な交流は行っているが、この1年間で新たに施設に立ち寄られるようになった方は、殆どいらっしゃらない。認知症への理解を深めるための働きかけも、未だ実現に至っていない。	老若男女を問わず、気軽に立ち寄って世間話などをして頂ける、そんな施設を目指したい。また、少しでも地域貢献のできる施設として、成長して行きたい。	食材購入・運営推進会議への参加呼びかけ・散歩時の挨拶の徹底など、地域交流のための働きかけは、今まで通り継続して行く。新しい案として、花壇の大改造を行い、外部から来館したいと思われるような企画を進行中である。	6ヶ月
2	34・35	課題1にも通じるが、急変や事故発生時・災害時における地元からのご協力が得られる状態にあるのか、現状、つかみ切れていない。地域に消防訓練開催などの案内・参加呼びかけを行っても、殆ど参加して頂いていない。	これも、課題1と同様に、気軽に立ち寄る事のできる環境作りをし、ご入居者や職員の顔が分かるような施設を目指したい。顔見知りとなることにより、日常的なご協力も得られるような状態を作り出したい。	課題1同様、外部から来館したいと思われるような目玉企画には取り組み始めている。今後は、その構想の実現に向けての具体的な行動をとって行く予定である。	12ヶ月
3	13・14	自発的な研修受講により、積極的に知識を得ようとする姿勢が、かなり見られるようにはなっているが、土壌作りができたかどうかについては、疑問が残る。また、受講して得た知識が仕事にフィードバックされているのかについても同様に感じられる。	何も言われなくても、自己研鑽に努める姿勢、人間として介護職員として、成長しようとする姿勢が見られる施設にしたい。また、他事業所・異業種交流を通じて、お互い刺激を与え合える関係を築きたい。	研修レポートを提出、業務にフィードバックすることで、研修受講時は出勤扱いとし、交通費を支給するなど、できる限りのバックアップは行っている。今後は、施設のためになる研修受講であれば、研修費自体も支給されるようなバックアップ体制を会社においてほしいと思っている。	6ヶ月
4	37・38・39・49	希望の表出・自己決定・その方らしい生活・身だしなみ・おしゃれ・外出など、ある程度の支援はできているが、必ずしも十分とは言えない。また、その環境作りも不十分と言わざるを得ない。	何の躊躇もなく、ご利用者が希望の表出・自己決定ができ、その方らしい生活ができるための環境作りを徹底して行きたい。そしてその中で、ご利用者ができる限りの喜びや楽しみを感じて頂けるような施設作りを行いたい。	傾聴は勿論のこと、身だしなみやおしゃれを楽しめるような工夫(身に付けるものをリストから選ぶなど)は、実験的に行っている。サービス担当者会議やカンファレンスなどを利用し、ケアプランに反映することで、より一層の喜びや笑顔を見せて頂けるような支援を心掛けている。	12ヶ月
5	20	施設入居をすると、どうしても馴染みの方々や物との関係継続が難しくなる傾向にある。来館しやすい(外に働きかけている)施設作りを心掛け、ご家族との深い交流により信頼関係の構築がある程度なされ、大分改善されていると言えるが、未だ不十分。	課題1にも繋がるが、より気軽に訪ねて来やすい施設の構築。内部的には、手紙を書いたり、電話をかけたりが自由にでき、ご利用者から、外に働きかけができる様な環境作りを行いたい。	ご利用者の為に手紙を購入、ご自宅に帰られてのご家族との食事の推奨などを行っている。またホームが、これまでの生活の延長線上にある寛げる場所で、ご自宅と同じ感覚を持って頂くべく、環境作りを行っている。外に向けての働きかけは、課題1・2に挙げたような取り組みを行っている。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。